

2024  
5月

# 情報図書館だより

通巻 409号 江別市情報図書館：江別市野幌末広町7番地

江別市情報図書館  
ホームページ  
QRコード

江別市情報図書館  
Facebook  
QRコード



<https://www.lib.city.ebetsu.hokkaido.jp/>



## スマホから

## 貸出バーコードが 出せるようになりました

4月27日  
としょかんがもっと便利に!



マイページ(\*)から **パッ!**と出して **ピッ!**と貸出!

貸出カードの代わりにカウンターで提示して貸出OK!  
もっと気軽にとしょかんをつかってください!

※情報図書館の利用者登録と、インターネットサービスの登録が必要です。お済みでない方はぜひ登録を!

詳しくは  
こちら!



## 4/23~5/12 はこどもの読書週間です。

2024 『こどもの読書週間』 標語

# ひらいてワクワク めくってドキドキ



「子どもの読書活動の推進に関する法律」に定められる4月23日の「子ども読書の日」から5月12日までの期間、「こどもの読書週間」として、全国でさまざまな行事が行われています。

情報図書館では、週間にあわせて  
「おすすめ絵本リスト」を配布しています★  
**今年の選書テーマは「ときどき! わくわく!  
ぼうけんのせかい」**

ぜひこの機会に、児童書コーナーをご利用ください!



開館時間	■ 本館	
	【火・土曜日】	10:00~19:00
	【水・木曜日】	10:00~21:00
	【金・日曜日】	10:00~17:00
	■ 江別分館・大麻分館	
	【火~日曜日】	10:00~17:00

本館・ぶらっと窓口	384-0202
江別分館	385-1372
大麻分館	387-1634
豊幌小学校	383-4486
江別太小学校	382-2600

※ぶらっと窓口、豊幌小学校図書館、江別太小学校図書館の開館曜日、開館時間はお問い合わせください。

## 5月の 休館日

月曜日

6日 13日 20日 27日

図書整理日

第4金曜日 24日

★一般特集コーナー

5月23日まで

春の全道火災予防運動

4月20日(土)～30日(火)

守りたい未来があるから 火の用心  
2024 年度全国統一防火標語



★エントランス展示

5月23日まで



★児童室特集

5月23日まで



☆不要雑誌の無料提供 (正面玄関)

5月の更新日は

25日(土)

です



新着図書案内

最近あたらしく入った本の一部です

分野	書名	著者名
情報	Pinterest完全マニュアル	Studioノマド
	After Effects 作って学ぶ映像効果	ムラカミ ヨシユキ
心理学	モフモフはなぜ可愛いのか	小林 朋道
道徳	100歳の壁	和田 秀樹
紀行	漫画家が見た百年前の西洋	和田 博文
	絶景サウナ旅	川邊 実穂
政治	魅せる!ふるさと納税	川口 篤史
社会	最後は住みたい町に暮らす	井形 慶子
教育	中学受験は食事が9割	表 洋子
	成功する就活の教科書	山岸 慎司
数学	ヤバい統計	ジョージナ・スタージ
医学	ウルトラ解剖 おとなと子どもの頭痛	清水 俊彦/監修
	61歳で大学教授やめて、北海道で「へき地のお医者さん」はじめました	香山 リカ

分野	書名	著者名
電気工学	「電気回路、マジわからん」と思ったときに読む本	二宮 崇
料理	サンドイッチのレシピ大図鑑370	藤沢 せりか
	お菓子好きのための クリームの本	小松 友子
動物	保護犬・保護猫と家族になるときに読む本	保護犬・保護猫のお迎えサポート
趣味	黒猫の漫画家スタンラン	スタンラン/[画]
	脳の筋トレ! 思い出しおりがみ	古賀 良彦/監修
日本文学	ひとが詩人になるとき	平川 克美
	京都たのしい源氏物語さんぽ	朝日新聞出版/編著
外国文学	手はポケットのなか	ヴェロニク・プーラン
	ステラ・マリス	コーマック・マッカーシー
小説	魂の歌が聞こえるか	真保 裕一
	こまどりたちが歌うなら	寺地 はるな
	虎と兎	吉川 永青

この本がおすすめ!

「電気回路、マジわからん」と思ったときに読む本



二宮 崇/著 オーム社

電流、電圧、抵抗...と聞いてアレルギー反応が起きる方に見え。読了した後、必ず誰かに話したくなること間違いなし。

ちょっと興味のある方、すでにご存じの方、電気回路って実はこんなにシンプルなんです。

天気が変えた戦国・近世の城



久保井 朝美/著 PHP エディターズ・グループ



お城の見方は様々です。「天気」という観点から、考えたことはありますか?

雪や雨が降る場所、台風が来る場所、それぞれの場所には、その築城方法しかなかった!というところが、新たな切り口で再発見できるはず。